

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2020年10月1日 ～ 2025年12月31日の間に、潰瘍性大腸炎のために虎の門病院消化器内科に入院・通院し、採血を受けて、かつその前後30日以内に大腸内視鏡検査を受けられた方

【研究課題名】

潰瘍性大腸炎における血清バイオマーカーとUCEIS サブスコアの関連

【研究の目的・背景】

《目的》

潰瘍性大腸炎患者さんの血液検査（血清バイオマーカー）と大腸内視鏡検査の所見との関連を明らかにすることを目的としています。血液検査でどのような内視鏡所見を反映しているかを検討することで、将来的に潰瘍性大腸炎の病状をより適切に評価する方法の確立につながることを期待されます。

《研究に至る背景》

潰瘍性大腸炎では、病気の活動性を評価するために血液検査や大腸内視鏡検査が行われています。近年、血液検査による炎症マーカーは病状を把握するために広く用いられていますが、それぞれの検査項目が内視鏡で認められるどのような炎症所見を反映しているのかは十分に明らかになっていません。そのため、血液検査と内視鏡所見との関連を詳しく調べることは、今後の潰瘍性大腸炎の病状評価や診療の向上につながることを期待されています。

【研究期間】

2026年9月17日 ～ 2027年12月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：診療録、内視鏡記録、検査データ

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：消化器内科 ・ 早坂 淳之介

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2027年3月31日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 消化器内科 ・ 早坂 淳之介

電話 03-3588-1111(代表)